

4 月 17 日に本校 3 年生対象に実施された全国学力学習状況調査の結果が、文部科学省より公表されました。本調査は、国語・数学・理科の 3 教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されています。その調査結果を受けて、本校生徒の学力および学習状況の傾向や課題を以下のように分析しました。

総合結果(国語・数学・理科)

国語 A・B、数学 A・B、理科ともにほとんどの領域・観点・問題形式において、全国平均及び京都府平均を大幅に上回る正答率なので、基礎的な知識も活用力も十分に身につけていることがわかります。また、無回答率の低さも目立っており、最後まであきらめずに取り組む姿勢が際立っています。

国語 分析

国語 A、国語 B ともにすべての設問で全国平均を上回っており、課題を見つけることはできません。国語 A で特に優れた点として、「書くこと」に関して全国平均を大きく上回りました。また、国語 B に関して「言語についての知識・理解・技能」と記述式の問題の正答率が高い傾向が見られ言語活動能力の高さが目立ちました。しかし、「読書が好き」の割合が全国平均より低くなっています。

数学 分析

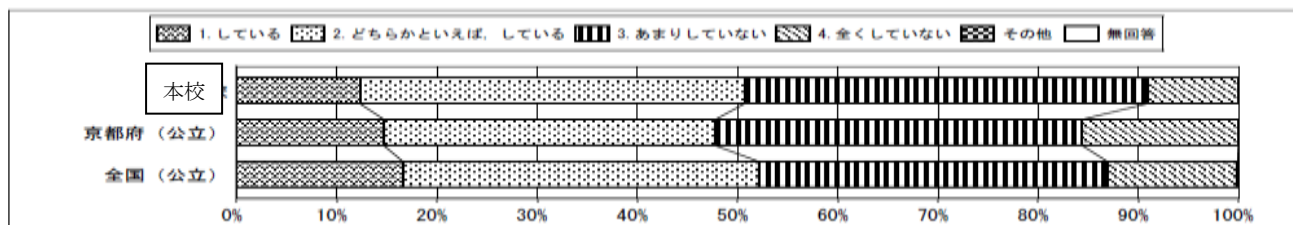
数学 A、数学 B ともにすべての設問で全国平均を上回っていました。数学 A の資料活用問題では大幅に全国平均を上回っていました。数学 B では、図形に関する問題を得意としている傾向が見られました。“数学の授業が普段の生活の中で活用できないかを考える”という質問に関しては、全国平均より低い結果になっていました。

理科 分析

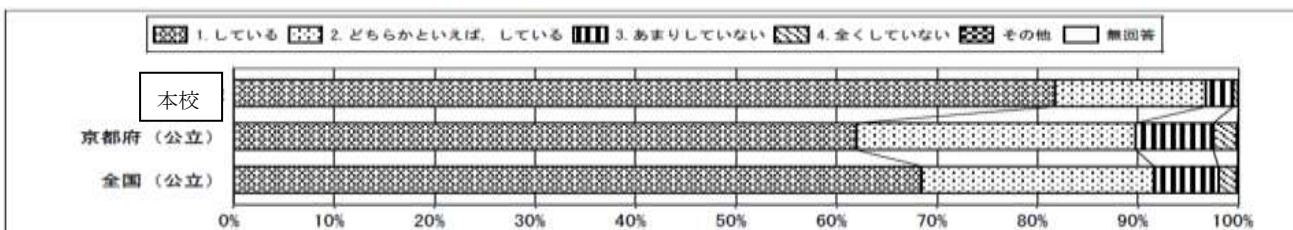
全国平均を多くの設問で上回りました。特に、「化学的領域」「地学的領域」では、大きく上回りました。また、「理科が好き」や「将来役に立つ」と思っている生徒が多いことがわかりました。しかし、「物理的な領域」で全国平均を少し下回る結果になりました。また、「自分の考えを発表している」と答える生徒が少ない傾向にありました。

生徒質問紙調査から①

Q 家で、自分で計画を立てて勉強していますか？

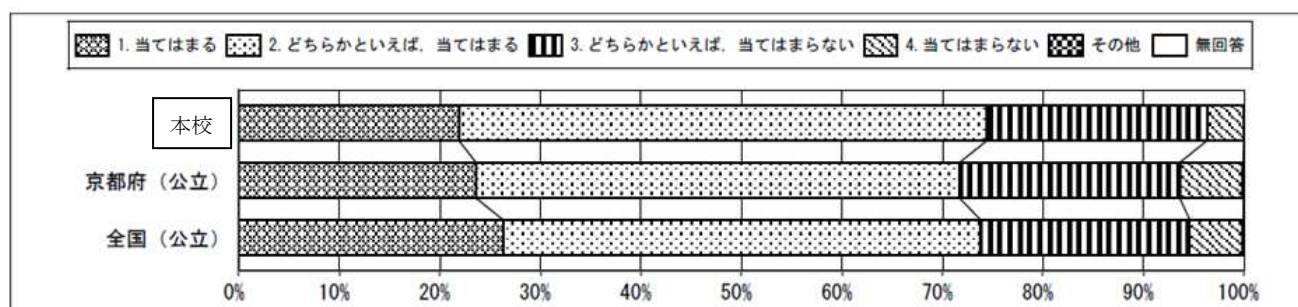


Q 家で、学校の宿題をしていますか？

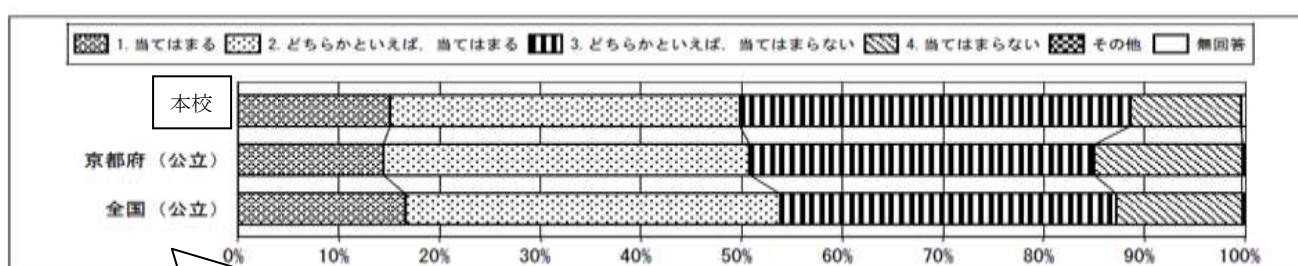


生徒質問紙調査から②

Q 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか？



Q 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか？



全国平均と比較しても、学習時間の長い生徒が多いです。与えられた課題を家でしっかりしている傾向も見られます。しかし、自分で計画を立てて勉強することに関して苦手なデータが出ています。家庭でも主体的に学ぶ意欲を持って、取り組みればもっと伸びると思われます。

全体を通した本校の成果と課題

本校では、日常の授業改善（主体的・対話的で深い学び）や学習会、「図書館教育」（言語活動）、「道徳教育」（豊かな心）に取り組んできました。その結果、昨年度以上に主体的に取り組む意欲が伸び、基本的生活習慣や学習習慣も定着し、規範意識も高く、将来への展望を強く持ち、自己有用感も高くなってきました。そのことが様々な学校生活の優秀さはもちろんのこと、学習面において抜群の結果になった一因と考えることができます。しかし、生徒質問紙調査①で示したように、塾での学習だけでなく、家庭学習（復習・予習）を積極的に取り組むことができれば一層の伸長が期待できます。

人物的に大変優れた面を持っているので、今後も基礎的・基本的な内容を大切にしながら、主体的に何事にも取り組む姿勢を一層培うことができれば、大幅な成長が期待できます。学校としても、今後も興味・関心を高める授業の展開工夫、基礎・基本の反復学習、主体的・対話的で深い学びのための学習の推進、道徳・総合的な学習の時間・人権学習を通して心の教育の充実など一層の工夫をした取り組みを継続・発展させていきたいと考えています。

